（様式①）

事　業　計　画　書　目　次

［環境創造局］　　１款１項３目　　（単位：千円）

計画書頁	事　業　名	令和５年度		令和４年度		増△減（５－４）		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	まちなかでの緑の創出・育成事業	695,800	50,000	661,700	25,000	34,100	25,000	
2	市民や企業と連携した緑のまちづくり事業	111,366	0	102,152	0	9,214	0	
3	子どもを育む空間での緑の創出・育成事業	14,500	0	14,500	0	0	0	
4	緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業	336,000	9,000	355,550	0	△ 19,550	9,000	
	計	1,157,666	59,000	1,133,902	25,000	23,764	34,000	

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	みどりアップ推進 課					新規拡充	□ 新規　□ 拡充				事業評価書番号		1-1-3 1.2
事業区分	□ 施設等整備費　■ その他													
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1	款	1	項	3	目	枝番号	1			前年度事業名称		まちなかでの緑の創出・育成事業
事業名称	まちなかでの緑の創出・育成事業						政策番号	31	政策指標	1	施策番号	3	施策指標	－

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一　般　財　源　等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和５年度	695,800	2,500	0	0	643,300	50,000	0
補助事業	5,000	2,500			500	2,000	0
単独事業	690,800				642,800	48,000	0
令和４年度	661,700	12,000	0	0	624,700	25,000	0
増△減	34,100	△ 9,500	0	0	18,600	25,000	0

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算	事業費	980,900	738,000	684,000
	市債＋一般財源	240,000	80,000	0
決算	事業費	1,041,998	594,241	568,192
	市債＋一般財源	240,000	80,000	0

令和６年度	令和７年度	令和８年度
－	－	－
－	－	－

事業概要	多くの市民の目にふれる場所での緑化や目にする機会の多い街路樹を良好に育成するための取組や、地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。
事業開始年度	平成26年度
根拠法令・方針決裁等	(1) 街路樹による良好な景観の創出・育成　横浜市街路樹による良好な景観の創出事業事務取扱要領、横浜市街路樹による良好な景観の育成事業事務取扱要領、道路法、道路構造令、横浜市街路樹要綱、横浜市街路樹管理基準 (2)-1 シンボル的な緑の創出・育成　都市公園法、横浜市公園条例 (2)-2 公開性のある緑空間の創出支援　　横浜市公開性のある緑空間の創出支援事業要綱 (3) 名木古木保存事業　横浜市名木古木保存事業要綱
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 （必要性）	(1) 街路樹による良好な景観の創出・育成 ① 地域に愛されている桜並木などの街路樹を再生しました。また、空いている植栽桝に補植することで、良好な景観づくりを進めました。 そして、市民の目にする機会が多い街路樹を計画的に剪定することで、良好な街並を形成しました。 ②・街路樹の再生 老木化した桜並木などの地域で愛されている並木の再生や、空いている植栽桝への補植など、街路樹による良好な景観づくりを進めます。 ・街路樹の良好な維持管理 駅周辺や各区の主要な路線など、多くの市民の目にふれ、街並みの美観向上に寄与する街路樹を良好に育成します。 (2) シンボル的な緑の創出・育成、公開性のある緑空間の創出支援 ① (2)-1 公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成 緑の少ない市街地において、市民が実感できる緑をつくるために、多くの市民の目にふれる場所で土地利用転換の機会を捉えて緑豊かな空間を創出していく必要があります。 (2)-2 公開性のある緑空間の創出支援 より多くの市民に活用していただけるよう、事業の周知をさらに進める必要があります。 ② (2)-1 公有地化によるシンボル的な緑の創出・育成 多くの市民の目にふれる場所で、土地利用転換などの機会をとらえて用地を確保し、緑豊かな空間を創出することで、街の魅力や賑わいづくりにつなげます。 また、花畑や名所など、地域に親しまれている緑のオープンスペースが、所有者の不測の事態等により、存続が困難となった場合に用地を取得し、緑や花による地域のシンボル的な空間として保全します。 (2)-2 公開性のある緑空間の創出支援 多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対しその費用の一部を助成、支援することで、緑の持つ憩いの場としての機能や緑・花による街の魅力向上や賑わいの向上につなげます。 (3) 名木古木保存事業 ① 制度の周知が図られ、3か年で新たに66本を名木古木に指定したほか、維持管理等にかかる助成金は195本に対して行うなど、高い実績となりました。 また、指定された名木古木には、定期調査として、樹木の専門家である樹木医が育成状況を確認するとともに、維持管理について適切な助言をするなど、所有者に対する支援を行いました。 ② 緑の環境をつくり育てる条例に基づき保存すべき樹木として指定し、維持管理費等の一部を助成することで、地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木をもって潤いのある市民生活の確保と、都市の美観風致を維持します。
根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
街路樹の再生	単位	目標	2	2	2	2	－	－	－
	路線	実績	6	4					
街路樹の良好な維持管理	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	路線	実績	推進	推進					
公有地化によるシンボル的な緑の創出	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	か所	実績	1	1					
公有地化によるシンボル的な緑の育成	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	か所	実績	2	2					
公開性のある緑空間の創出支援	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	か所	実績	2	1					
名木古木の保存（新規指定）	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	本	実績	28	11					
名木古木の保存（助成交付）	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	本	実績	72	82					

事業スケジュール	
	(1)街路樹による良好な景観の創出・育成 ： 事業実施(通年)、対象路線選定(8月)、予算とりまとめ(9月)、実績報告(3月) (2)-1　創出：設計（通年）、工事（10月～3月）、予算とりまとめ（9月）、実績報告（3月） 　　育成：維持管理（3回/年）、予算とりまとめ（9月）、実績報告（3月） (2)-2　受付（例年１月末まで） (3)助成受付（例年１月末まで）、新規指定受付（例年６月末まで）、指定調整会議（１月）、指定・告示（２月）

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
	① 街路樹による良好な景観の創出・育成	582,000	582,000	0	
	② シンボル的な緑の創出・育成	97,000	62,900	34,100	（仮称）北寺尾六丁目公園の整備工事による増
	③ 名木古木の保存	16,800	16,800	0	
	細事業合計	695,800	661,700	34,100	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	小田嶋鉄朗	高村暁子	石井久美子

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	みどりアップ推進 課				新規拡充	□ 新規　□ 拡充				事業評価書番号		1-1-3 3		
事業区分	□ 施設等整備費　■ その他														
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1	款	1	項	3	目	枝番号	2		前年度事業名称		市民や企業と連携した緑のまちづくり事業		
事業名称	市民や企業と連携した緑のまちづくり事業					政策番号	31	政策指標	2	施策番号	3	施策指標	1		

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和５年度	111,366	0	0	0	111,366	0	0
補助事業							0
単独事業							0
令和４年度	102,152	0	0	0	102,152	0	0
増△減	9,214	0	0	0	9,214	0	0

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算	事業費	79,357	79,462	78,514
	市債＋一般財源	0	0	0
決算	事業費	65,250	43,093	55,851
	市債＋一般財源	0	0	0

令和６年度	令和７年度	令和８年度
－	－	－
－	－	－

事業概要	緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠です。地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組など、緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民の生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。
事業開始年度	(1)平成21年度(2)昭和52年度
根拠法令・方針決裁等	(1)地域緑のまちづくり ： 緑の環境をつくり育てる条例、横浜市地域緑のまちづくり事業要綱 (2)人生記念樹の配布 ： 横浜市人生記念樹配布事業要綱
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 （必要性）	(1) 地域緑のまちづくり ① 地域の緑化計画に基づく緑化活動により、住宅地から商業・工業地域まで、その地区ならではの緑のまちづくりが進むとともに、緑をテーマとした地域コミュニティ活動も盛んになりました。 また、市の助成が終了した後も、地域で自立的な緑化活動が継続できるように、団体同士の交流会などの支援の取組を、今後も継続する必要があります。 ②「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の思いを実現するため、計画づくり、花や木の植栽、維持管理など、緑のまちづくりに協働で取り組みます。 ご近所同士や集合住宅の管理組合でも気軽に取り組める仕組みを継続しながら、地域での緑化整備や維持管理活動を支援します。 市民や企業と連携した緑のまちづくりを行い、市民の生活の身近な場所で緑や花に親しむきっかけを増やします。 (2) 人生記念樹の配布 ① 横浜市内産苗木を活用することで、みどりアップ計画の一環である地産地消にも取り組みました。 また、問合せの多い内容等について、ホームページに随時反映するなど利用しやすい制度となるよう改善に取り組みました。その他、教育委員会の協力を得て、小学校入学説明会での周知を行いました。 ②市民参加による緑の育成と推進を図り、民有地の緑を増やす施策の一つとして、市民が人生のうちで数々の思い出を残す最も意義深い出生、結婚などの喜びを記念し、記念樹として苗木の配布を行っています。市民が緑に対する愛着を深め、広く民有地に植樹し、自らの木として守り育て都市緑化の推進、寄与を目的とします。 対象が幅広く利用しやすい制度ですが、令和３年度実施のeアンケートでは、「事業を知らない 63.6%」と知名度の低さが課題となっています。 今後、2027年度国際園芸博覧会開催も見据えたうえで、より多くの市民に緑や花に興味を持ってもらうため、令和５年度は、次年度からの新たな形で事業実施に向けて検討していきます。検討のなかでは、令和６年度の運営に関する委託契約を令和５年度中に締結するといったことも含め、事業実施方法を見直しと実施をあわせて進めていきます。
根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書 令和３年度第16回ヨコハマeアンケート人生記念樹配布事業の樹種見直しに関するアンケート　「事業に申し込んだことはない 54.3%」

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
第3期(2019-2023)みどりアップ計画の実施地区	単位	目標	6	6	6	6	－	－	－
	地区	実績	4	7					
苗木の配布	単位	目標	8,000	8,000	8,000	8000	－	－	－
	本	実績	6,284	7,423					

事業スケジュール	(1) 地域緑のまちづくり 新規地区：公募(4～6月)、1次審査(7月)、2次審査(10月)、団体決定(11月)、協定準備期間(1～3月)、協定締結(3 月) 継続地区：事業実施（通年） (2) 人生記念樹の配布 ： 受付（通年）、配布（５～６月、10～11月）、R6年度運営委託（10月）、R6年度広報（３月）

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
①	地域緑のまちづくり	89,686	92,152	▲ 2,466	協定締結団体の計画を踏まえた減
②	人生記念樹の配布	21,680	10,000	11,680	事業主体・実施方法変更の準備による増
	細事業合計	111,366	102,152	9,214	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 小田嶋鉄朗	係長 高村暁子	係 大崎十夢

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	みどりアップ推進 課				新規拡充	□ 新規　□ 拡充			事業評価書番号		-	
事業区分	□ 施設等整備費　■ その他												
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1	款	1	項	3	目	枝番号	3	前年度事業名称		子どもを育む空間での緑の創出・育成事業	
事業名称	子どもを育む空間での緑の創出・育成事業					政策番号	31	政策指標	1	施策番号	3	施策指標	-

（単位：千円）

区　分	金　額	財源内訳 国	県	諸収入	基金繰入金	一般財源等 市債	一般財源
令和５年度	14,500	0	0	0	14,500	0	0
補助事業							0
単独事業							0
令和４年度	14,500	0	0	0	14,500	0	0
増△減	0	0	0	0	0	0	0

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
予算	事業費	14,500	14,500	14,500	-	-	-
予算	市債＋一般財源	0	0	0	-	-	-
決算	事業費	7,488	3,339	5,524			
決算	市債＋一般財源	0	0	0			

事業概要	次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。
事業開始年度	平成26年度 （平成21年度から実施している民有地緑化助成事業、公共施設緑化事業、公共施設緑化管理事業を一部統合して事業化）
根拠法令・方針決裁等	横浜市民間保育所・学校等緑化助成事業要綱 横浜市民間保育所・学校等緑地維持管理助成事業要綱
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 （必要性）	①　公共保育園、幼稚園、小中学校において、PRにより制度の周知が進んだことから、3か年で5か年目標値を達成し、多様な緑を創出しました。　また、子どもたちが日常的に利用している芝生やビオトープを、常に良好な状態で維持していくためには、施設管理者へのフォローアップが重要であり、今後も継続した技術支援が必要です。 ②　保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成 緑の創出・育成を通じて、緑、花や生き物とふれあったり、育てる体験を通して、子どもの豊かな感性を育むとともに子どもたちが地域の緑や環境に関心を持つきっかけを増やします。 ア　緑の創出 子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。 イ　緑の育成 創出した緑（園庭・校庭の芝生等）を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。また、芝生やビオトープ、花育等緑化に関する技術支援を行います。
根拠・データ等	民間保育園・幼稚園・小中学校等：　約1600校　（「横浜市における教育・保育資源の種類と定義（令和4年4月1日現在）」および「令和３年度学校基本調査」のうち横浜市民間保育所・学校等緑化助成事業要綱の対象となる施設） 横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
緑の創出	単位	目標	10	10	10	10	-	-	-
	件	実績	2.0	7.0					
緑の育成	単位	目標	推進	推進	推進	推進	-	-	-
	件	実績	3.0	4.0					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	民間保育園・幼稚園・小中学校への助成：受付（例年１月末まで）

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
	① 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	14,500	14,500	0	
	細事業合計	14,500	14,500	0	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	小田嶋鉄朗	高村暁子	大崎十夢

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	みどりアップ推進 課	新規拡充	□ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	1-1-3 4
事業区分	□ 施設等整備費　■ その他					

歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1	款	1	項	3	目	枝番号	4	前年度事業名称	緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業

事業名称	緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業	政策番号	31	政策指標	1	施策番号	3	施策指標	－

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一　般　財　源　等	
		国	県	諸収入	基金繰入金	市債	一般財源
令和５年度	336,000	1,000	0	0	326,000	9,000	0
補助事業	2,000	1,000			1,000	0	0
単独事業	334,000	0			325,000	9,000	0
令和４年度	355,550	0	0	0	355,550	0	0
増△減	△ 19,550	1,000	0	0	△ 29,550	9,000	0

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算	事業費	364,050	313,050	354,040
	市債＋一般財源	0	0	0
決算	事業費	321,527	291,538	305,980
	市債＋一般財源	0	0	0

令和６年度	令和７年度	令和８年度
－	－	－
－	－	－

事業概要	第33回全国都市緑化よこはまフェアには、多くの人が訪れ、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しました。多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、これらの取組を継承し、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。
事業開始年度	平成26年度
根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第４条の施行に関する基準、横浜市都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり事業事務取扱要領
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 （必要性）	①　3か年でみなとみらい21地区から山下地区を中心とした都心臨海部や、こども自然公園、児童遊園地、里山ガーデン、新横浜駅周辺など１５か所で空間づくりと維持管理を進めました。それによって、都市公園や港湾緑地、街路樹などにおいて緑のネットワーク形成が進み、季節の花による空間演出が行われ、都心臨海部の季節の景観として定着しました。 　そして、山下公園や港の見える丘公園などでは、バラ園や美しい花壇が整備され、いつ訪れても緑や花が楽しめる質の高い管理が行われています。また、こども自然公園、児童遊園地などで桜などの花木による花の名所づくりが進み、里山ガーデンでは緑や花で会場を彩りました。 　多くの市民や観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、質の高い維持管理を進めながら、緑や花により魅力を高めることが重要です。 ②　みなとみらい21地区などの都心臨海部や、第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。また、こども自然公園などの都市公園において、桜などの花木による花の名所づくりを進めます。 　あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。 ※1項、2項合わせた事業の内容です。
根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
緑花による空間づくりと維持管理（※123との合計）	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	か所	実績	15	14					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	事業実施（通年）、予算とりまとめ（8月）、報告取りまとめ(3月)

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
	① 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	336,000	355,550	▲ 19,550	緑化内容の見直しによる減
	細事業合計	336,000	355,550	▲ 19,550	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋　鉄朗	高村　暁子	石井　久美子

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1